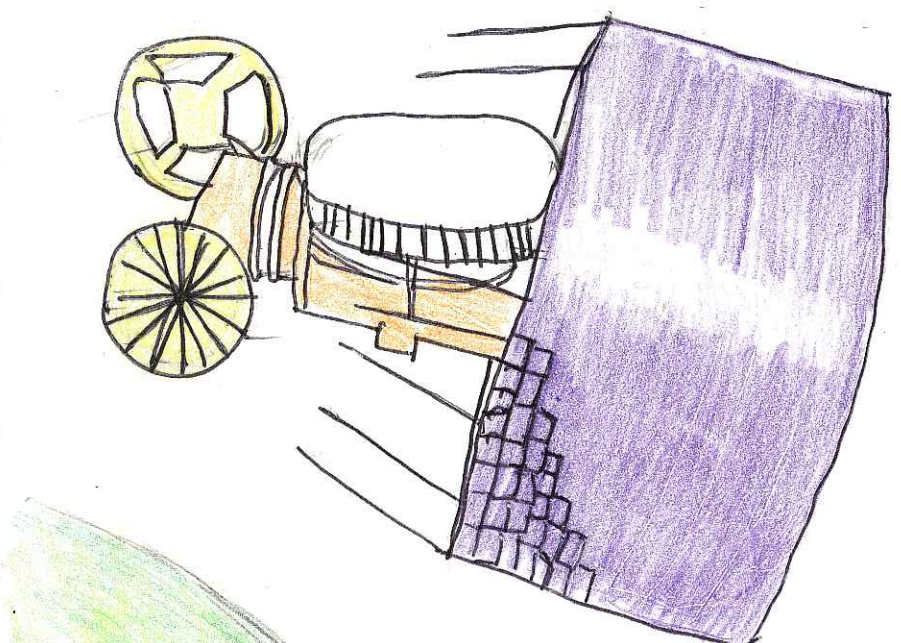


05/7/21

筑波宇宙センター 親子見学会

自由研究コンクール感想文

この用紙だけではなく、自由に工作や絵日記、自由研究などの作品を作成してください。



かっしゅ 越谷市大袋北 小学校六年
なまえ 宮田 昂

日本のロケットが打ち上げ成功というほどのニュースは、今までのぼくは「たぶん、たぶん」と思っただけで、その先の話しを理解していません。たからです。筑波宇宙センターを見学してわかったのは、そのロケットには人工衛星が入っていて、人工衛星はぼく達の生活にとても役に立っているという事でした。通信、放送衛星は世界の情報をすぐに知らせてくれるし、衛星通信はカーナビなどで活躍しています。そして、気象衛星ひまわりは日本の天気を予測するのに役立っているように思いました。人工衛星は壊れると修理する事ができない。だから打ち上げの時に、かかるし、修理も高コストなため、故にうしないように何度も何度も打ち上げます。人工衛星は打ち上げると修理する事に、何度か打ち上げても、打ち上げます。この人工衛星が完成するまでは計画から五年、十年の長い時間と金、そしてたくさんのスタッフと労力が必要なんだという事も知りました。今度ロケットの打ち上げのニュースを聞いた時、その中に「人工衛星が乗っている活躍する」のが、楽しみたいと思います。

8/15までにお送りください 送付先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階
 (社) 日本機械学会 (担当職員 高杉史靖) 電話 03-5360-3500 / FAX 03-5360-3508
 E-mail takasugi@jsme.or.jp